

山地災害対策緊急展開チームを派遣しました



去る7月の平成29年九州北部豪雨により、福岡県朝倉市を中心に多数の山腹崩壊等が発生しました。これらの箇所では、台風等に伴う二次災害を防止するため、緊急的な復旧整備を行う必要があります。

このような中、福岡県より九州森林管理局に対して、災害発生箇所の調査、対策検討等についての技術支援が要請されたことを受け、林野庁及び全国の森林管理局の技術者による「山地災害対策緊急展開チーム」を現地へ派遣しました。

「山地災害対策緊急展開チーム」とは

大規模な山地災害が発生し、迅速かつ円滑な対策業務の実施を図る必要がある場合、被災地等を管轄する森林管理局、森林管理署及び近隣を含むその他の森林管理局・署等から、技術、知識または経験を有する職員で構成される「山地災害対策緊急展開チーム」を派遣し、荒廃林地の現地踏査等を行い、その結果を関係の地方公共団体等に提供します。

活動概要

7月24日から9月1日までの間、北海道、東北、関東、中部、近畿中国、四国、九州の各森林管理局、森林管理署等及び林野庁から派遣された延べ274人の技術者が連日の猛暑の中、早期復旧に向け精力的に活動を展開しました。

本チームは、大分西部森林管理署（大分県日田市）を拠点に、福岡県の朝倉市と東峰村において

- ① 現地調査（荒廃林地の概況調査、治山及び林道施設復旧事業の概略設計等）
 - ② 技術的支援（災害復旧等事業の実施に向けた工法、設計等の技術的助言）
- を実施、得られた結果（測量野帳、図面等）を福岡県に提供したところです。

なお、福岡県からの要請を受け、朝倉市の民有林被災地を対象に九州森林管理局が直轄で応急工事等を行うこととしていますが、これらの対策にも本チームの調査結果が活かされています。

今後とも大規模な山地災害等が発生した際は、迅速な被害状況の把握に努めるとともに、山地災害対策緊急展開チームを被災自治体等へ派遣するなど、国民の皆様の安全・安心の確保に向けた対策を進めてまいります。

山地災害対策緊急展開チームの業務別派遣人数

単位：延べ人数

派遣元	計	林地荒廃・治山施設 関係業務	林道施設 関係業務
林野庁	53	43	10
九州森林管理局	68	63	5
その他の森林管理局	153	123	30
合計	274	229	45